



# 栃木県立足利南高等学校

## 令和元年度 総合学科通信 第3号

No.55  
(2020/3/24 発行)

### 校長より

#### 「たくましく生きる」

校 長 中塚 昌男

今年は新型コロナウイルスの影響で3月3日以降が休業となつてしまい、予定していた行事等も縮小や中止となり大変残念に思います。この総合学科通信が皆さんの手元に届けられるかどうか心配でした。それでも、今年度もあと1週間ほどになり、あっという間の1年間という印象です。令和も2年目となりオリンピックイヤー（実施については不安がありますが）でもあり、まさに新しい時代に一步踏み出したことを感じました。

さて、本校総合学科では1年生の「産業社会と人間」の授業におけるライフプランの作成に始まり、3年生の「課題研究」を集大成とする3年間を見通したスパンでの学習となっています。その成果の一部を垣間見ることができたのが1月に行われた総合学科発表会でした。今年度の発表会ではタブレット等のICT機器を活用して学習成果をよくまとめてくれたことと相まって、質疑応答ではそれぞれの発表に対して自分のこととして疑問を持ち、その疑問等を発表者に投げかけてくれたことに大変嬉しく思いました。このことが深い学びに繋がる第一歩であり、総合学科における「課題研究」の醍醐味であると思ひました。

ところで、話は変わりますが2月4日（火）に3年生向けに校長講話を行いました。タイトルは「本質を見抜く」です。皆さんの課題研究発表を見ていて気が付いたことですが、多くの生徒がインターネットを利用して調べていました。しかし、ネットの世界ではその情報が本当かどうか（フェイクニュース等の言葉があるように）を見極める必要があると思います。言い換えると膨大な情報の海の中から取舍選択して適切に情報を活用していかなければならないということです。さらに、複雑化する社会や人間関係の中で生きていく上で大切なことは、物事の本質を見抜いて見極めることではないかと感じたからです。足利南高校で磨いた「強み」を活かして本質を見極めることによってフェイクに惑わされないように未来を切り拓いて欲しいと思います。そして、切り拓いたその先にある「夢」をしっかり掴んで欲しいと思います。

### スポーツデイ

今年度のスポーツデイは、男子サッカー、女子がバレーボールを実施しました。生徒は体育の時間や早朝に練習を重ね、大会当日は大変盛り上がりました。例年とは違って、1・2年生の活躍が目立ち大きな存在感を示したスポーツデイとなりました。

【スポーツデイの結果】

|    | サッカー | バレーボール | 総合結果 |
|----|------|--------|------|
| 1位 | 1-2  | 2-2    | 3-1  |
| 2位 | 2-4  | 3-1    | 2-2  |
| 3位 | 1-3  | 3-4    | 1-2  |



生徒会係 厚木 範之

### 総合学科発表会

総合学科発表会担当 森 紀子

令和2年1月18日(土)、本校第1体育館において令和元年度総合学科発表会が行われました。

1年生の代表者2名が、自分の描く進路や人生設計をまとめた「ライフプラン」を、2年生の代表者2名が総合学習Ⅰの時間にまとめた「ミニ課題研究」を発表しました。3年生は、各系列の代表13名が「課題研究」の発表、生活デザイン系列の3名が被服製作の作品発表を行いました。

3年生は、総合学科においてこれまで選択し学習してきた科目をもとに、各自の興味・関心や進路に応じたテーマを設定し、総合学習Ⅱで4月から「課題研究」に取り組んできました。2年次のミニ課題研究をさらに深めたものや、実験・実習、フィールドワークを重ねた研究など、代表として選ばれるに足るものばかりでした。1・2年生にとって今後の「課題研究」の参考になったのではないかと思います。

今年度の発表会には、中学生や保護者、近隣の学校の教職員といった見学のお客様が80名以上、来校されました。この場をお借りして御礼申し上げます。来年度もさらに多くの方々に足を運んでいただけるような発表会を催したいと考えています。



### 講座発表会

学習指導部長 野口 徳雄

令和2年1月18日（土）、総合学科発表会日の午後、講座発表会が開かれました。毎年メディアホールでは演劇の発表が行われ、今年度は演劇Ⅰ（現代劇）が行われました。演目は「冒険者たち」、45年前にはアニメ化、5年前には映画化された作品です。ネズミである主人公ガンバと仲間たちがイタチを相手に活躍する物語で、公開講座の受講者と生徒が熱心に学習してきた成果が感じられる舞台となりました。

また第1体育館では、声楽・器楽・ダンスの発表が行われました。声楽では、声楽Ⅰ・声楽Ⅱ・音楽Ⅱの生徒が独唱や合唱を行い、器楽では、器楽Ⅰ・Ⅱの生徒がバイオリンの独奏や合奏を行いました。受講生徒の多くは初心者ですが、講師の先生方の熱心なご指導と生徒自身の努力によって、素敵な発表となりました。ダンスは、1・2年生の代表6チームの発表で、どのチームも協力し合いながら練習に励み、作品の完成度を高めていました。高校生らしい元気あふれる様子が印象的でした。さらに体育館後方では、家庭科や芸術科の書道と美術の力の入った授業作品が展示されました。来年度も素晴らしい発表になることを期待しています。



## 3学年より

### 「卒業式を終えて」

学年主任 森 紀子

令和2年3月2日、足利南高校第42回の卒業式が挙行され、総合学科18期生149名が本校を巣立っていきました。

1月半ばから新型コロナウイルス感染のニュースが日本列島をかけめぐり、特別指導期間直前の学年集会で感染予防について注意した時は、またこうして生徒全員と元気に会えるようにと祈るような気持ちでいっぱいでした。日に日に全国の感染者が増え、生徒たちが楽しみにしていた予餞会は中止となり、卒業式は縮小しての実施と決まった後、3月2日からの休校要請の知らせに、本当に卒業式ができるのだろうかと不安な日々を送りました。

在校生や来賓が参加せず、式の内容も大幅に縮小され、3年間の思い出にじっくり浸る余裕もありませんでした。人生の節目でもある卒業式を執り行うことができ、担任とともにも大変ありがたく思っております。

思い返せば、3年前の雨の入学式に始まり、昨年度は台風24号の沖縄上陸による修学旅行の延泊、体育祭もマラソン大会も雨、きっと卒業式の天気も雨に違いないと先生方や生徒らと笑い話のように前から話しておりましたが、予想に違わず雨の卒業式となりました。この3年間は、天候などの理由でさまざまな行事が中止や変更になり、多くの我慢を強いられたことと思いますが、生徒は文句一つ言わずに受け止め、気持ちを切り替えて生活してくれました。私もこの日の天気は「恵みの雨」と前向きにとらえたいと思います。

今後はそれぞれが選んだ進路に進みます。一人ひとりが努力してつかみとった道です。進んだ先には困難も待ち受けているでしょう。そのようなとき、足利南高校総合学科で頑張ってきた生活や仲間が存在が支えとなってくれることと思います。18期生の皆さんの大いなる活躍を期待しています。

## 2学年より

### 「総合学習Ⅰを振り返って」

学年主任 山田 英城

総合学習Ⅰでは、1年次で履修した「産業社会と人間」の学習内容を更に深めていくと同時に、3年次の総合学習Ⅱに向けての土台作りとして、スクールレインターンシップや進路・就職ガイダンスなどを通しての自己発見や進路希望の確認を行い、自らが主体的に考えて行動する基本姿勢を身につけていきました。

その様な活動のうち、1学期においてはミニ課題研究と呼んでいる短期間での課題研究に取り組みました。3年次の総合学習Ⅱで行う課題研究の予行のようなものですが、自分の進路に直接関わりのある分野や、身の回りにある気になることをテーマとして選び、短い時間でしつかりとした学習ができていたようです。2学期後半から3学期にかけて課題研究のテーマを決めていきましたが、ミニ課題研究で設定したテーマを更に研究していく生徒が多く、より深い研究が期待できます。担当系列の先生からの助言をいただきながら、来年度の総合学科発表会で良い発表ができるようにしていきたいと思います。

卒業まであと1年となり、自分の進路希望が叶うかどうかの瀬戸際になってきました。残り少ない時間ですが、総合学科で学んできた生徒ならではの力を十分に生かし、自ら掲げた目標を達成できるよう引き続き指導して参りたいと思います。



## 1学年より

### 「総合学科20期生の1年間」

学年主任 谷 昌範

入学してはや一年が経とうとしています。1年次生として「産業社会と人間」という、総合学科生でなければ経験できない多くの授業を通して、自分なりの進路実現に向けた道が見えてきたでしょうか？

自分自身を理解することに始まり、校外に出て社会の姿を知ること、様々な講話を聴いて見識を広めること、仲間と協力して目標を達成すること、他人に分かりやすくプレゼンテーションすること、など将来有為な社会人となるためのベースを様々な形で学んできました。しかし、勘違いして欲しくないのは、それぞれの学びが個々の進路に直結するわけではないということです。総合学科生として卒業するまでに身につけていなければならない素養があれば、社会に出た時に困ってしまいます。学校における多くの学びが、自分自身を作ってくれたと感じるのは何年後かは分かりませんが、日々の学校生活が唯一無二の自分を成長させてくれているのは間違いありません。

2年次での「総合学習Ⅰ」の授業では、自分の課題を見出し、それを解決していく術を学んでいきます。その中では、1年次に比べて主体的に行動することが求められます。是非とも高いチャレンジ精神を持って臨んでいってくれることを期待しています。そして、2度とない高校生活の中で、たくさん学び、たくさん遊び、今よりもっと大きな“私”を作っていって欲しいと思います。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119（事務室）

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118（職員室）